

# 横須賀市中小企業景況レポート

第44号（令和5年10月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課  
〒238-8550 横須賀市小川町11  
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページからもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：152社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査146社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和5年4～6月の景況感（調査時点 令和5年6月1日）  
今期・・・令和5年7～9月の景況感（調査時点 令和5年9月1日）  
次期・・・令和5年10～12月の景況感（調査時点                    "                    ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：D I値算出による（次ページにD I値の説明あり）

## 景況及び4項目の調査結果（全業種）

\* D I値調査結果は裏面に記載

\* 【 】は今期のD I値を記載

**全業種の景況感は、前期の4Pから3P向上し、【7P】となりました。**

今期の景況感は、卸・小売業【2P】は、14P向上し、不動産業【△9P】は、24P大幅に向上しましたが、製造業【3P】、建設業【3P】は、それぞれ10P、6Pやや低下しました。サービス業【25P】は、横ばいの状況です。

項目別では、雇用人員【△38P】がやや低下、その他の項目は横ばいの状況です。

昨年同期（令和4年7月～9月）との景況感比較は、前期、今期構成比ともに【7P】で横ばいの状況です。

コロナ禍の影響が緩和し、卸・小売業を中心に景況感が向上していますが、依然として原材料費や光熱費の高騰で、厳しい状況が続いています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値がDI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P以上)	やや良い (6P～14P)	変わらない (△5P～5P)	やや悪い (△6P～△14P)	悪い (△15P以下)
↑	↗	→	↘	↓

## 業種別 調査結果と事業者の声

\*DI 値調査結果は裏面に記載

### (1) 製造業 景況感 【 3P <変わらない> → 】 (前期比 △10P)

前期と比べ、収益【△16P】が7Pやや低下し、雇用人員【△42P】は24P大幅に低下しました。売上額【△10P】、資金繰り【△3P】は、横ばいの状況です。

次期は、雇用人員が、やや向上の見込みですが、収益は、やや低下する見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・7～9月売上は前年比5%減少。半導体不足に加え、海外からの部品・材料費等の輸入が停滞していることが主な要因。影響は当面続くと予想。
- ・取引先が依然在庫を抱えていることで、生産が減少。取引先の生産回復の見通しが未だ立っておらず、しばらくは生産減を予想。


### (2) 建設業 景況感 【 3P <変わらない> → 】 (前期比 △6P)

前期と比べ、収益【△14P】は11Pやや低下しましたが、その他の項目は横ばいの状況です。

次期は、収益が向上する見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・7～9月の売上は前年比横ばい。コロナ以前までとはいかない為、受注先を見つけることが急務。人手不足も課題である。10月～12月の売上は、何件か案件が入っており、定期的な受注が見込まれるため、前年比4%増加を見込む。また、内部での作業の効率化を進めている。
- ・単価の高い工事を吟味し、安定した受注確保を意識しながら取り組んでいる。しかし、外注費や材料費が高止まりしている状況により、利益減少が見込まれるため販管費の削減を強化している。


**(3) 卸・小売業 景況感 【 2P <変わらない>  】 (前期比 14P)**

前期と比べ、雇用人員【△36P】は11Pやや低下しました。売上額【△4P】、収益【△13P】、資金繰り【△18P】は横這いの状況です。

次期は、売上額と収益が、大幅に向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症が5類とされ人流が戻り、来店客数も大分増えてきた。売上も前年比10~30%増加し、少しずつ以前の状況に戻りつつある。
- ・物価高騰に注視しつつも、極力経費等を抑えていくように努めている。受注・在庫管理など再度見直しをはかり、10月~12月の売上は、前年比5%増加を見込む。

**(4) 不動産業 景況感 【 △9P <やや悪い>  】 (前期比 24P)**

前期と比べ、売上額【△18P】は7Pやや向上し、収益【△9P】、雇用人員【△27P】、資金繰り【0P】は、それぞれ9P、10P、8Pやや低下の状況です。

次期は、売上額が大幅に向上し、収益も向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・7月~9月売上は前年比50%増加。在庫の売却ができたことが要因。引き続き物件売却が予定されていることから10月~12月の売上は前年比20%増加を見込む。
- ・7月~9月の売上は前年比20%増加。物件仕入れについても今後複数見込んでおり、しばらくは堅調な推移を見込む。

**(5) サービス業 景況感 【 25P <良い>  】 (前期比 1P)**

前期と比べ、収益【9P】が、17P向上しました。売上額【25P】、雇用人員【△31P】資金繰り【△3P】は、横ばいの状況です。

次期は、すべての項目で横ばいの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・7月~9月の売上は前年比横ばい。記録的な猛暑で人出が少なくなったことから期待していたほどの来客数はなかった。
- ・7月~9月の売上は前年比2%増加。材料費が高騰しているが、コロナ5類以降、様々なイベントが戻ってきたことで外出頻度が増加し、来客数が微増した。
- ・「旅行需要は回復」と報道されているが、海外旅行や国内旅行の動きは、まだまだ鈍い。国内旅行も個人旅行の回復で、旅館や交通機関は利益が上がっているようだが、旅行会社の利益は、団体旅行がないと厳しい。

DI 値 調査結果

前・・・前期 令和5年4月～6月の景況感（調査時点 令和5年6月1日）  
 今・・・今期 令和5年7月～9月の景況感（調査時点 令和5年9月1日）  
 次・・・次期 令和5年10月～12月の景況感（調査時点 令和5年9月1日）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	164	32	35	48	12	37
今期	152	31	34	44	11	32
次期	152	31	34	44	11	32

(単位：ポイント)

項目	業種			全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																				
良い(A)	30	33	28	38	35	19	29	32	29	23	32	36	0	9	18	43	41	28			
変わらず	44	41	55	37	33	58	51	39	53	42	38	46	67	73	73	38	43	59			
悪い(B)	26	26	17	25	32	23	20	29	18	35	30	18	33	18	9	19	16	13			
DI値(A)-(B)	4	7	11	13	3	△4	9	3	11	△12	2	18	△33	△9	9	24	25	15			
今-前/次-今	3	4		△10	△7		△6	8		14	16		24	18		1	△10				
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																				
好転(A)	29	32	30	25	32	23	31	35	29	25	30	36	8	9	27	43	41	28			
変わらず	44	38	52	41	26	48	46	39	53	44	36	44	59	64	55	38	43	66			
悪化(B)	27	30	18	34	42	29	23	26	18	31	34	20	33	27	18	19	16	6			
DI値(A)-(B)	2	2	12	△9	△10	△6	8	9	11	△6	△4	16	△25	△18	9	24	25	22			
今-前/次-今	0	10		△1	4		1	2		2	20		7	27		1	△3				
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																				
増加(A)	18	24	25	22	26	19	17	21	26	19	23	32	8	9	18	19	34	22			
変わらず	56	42	51	47	32	36	63	44	53	50	41	43	84	73	73	54	41	65			
減少(B)	26	34	24	31	42	45	20	35	21	31	36	25	8	18	9	27	25	13			
DI値(A)-(B)	△8	△10	1	△9	△16	△26	△3	△14	5	△12	△13	7	0	△9	9	△8	9	9			
今-前/次-今	△2	11		△7	△10		△11	19		△1	20		△9	18		17	0				
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																				
多い(A)	6	2	3	16	3	6	3	6	6	2	0	0	0	0	0	8	0	0			
適正	57	58	59	50	52	55	43	41	47	71	64	66	83	73	73	49	69	66			
少ない(B)	37	40	38	34	45	39	54	53	47	27	36	34	17	27	27	43	31	34			
DI値(A)-(B)	△31	△38	△35	△18	△42	△33	△51	△47	△41	△25	△36	△34	△17	△27	△27	△35	△31	△34			
今-前/次-今	△7	3		△24	9		4	6		△11	2		△10	0		4	△3				
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																				
余裕がある(A)	12	13	11	16	13	6	14	12	9	8	16	16	8	9	18	14	13	6			
支障がない	68	67	73	62	71	81	69	73	76	65	50	59	92	82	73	70	71	81			
苦しい(B)	20	20	16	22	16	13	17	15	15	27	34	25	0	9	9	16	16	13			
DI値(A)-(B)	△8	△7	△5	△6	△3	△7	△3	△3	△6	△19	△18	△9	8	0	9	△2	△3	△7			
今-前/次-今	1	2		3	△4		0	△3		1	9		△8	9		△1	△4				

〈参考〉昨年同期と現在の景況感比較(回答149社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	43社	29%	27%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	73社	49%	53%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	33社	22%	20%
DI値(A)-(B)		7P	7P

